

「見直し」の習慣を付ける

算数少人数担当 山崎 良弘

算数では、3年生から6年生は各学級に加えて少人数算数クラスを設けています。2学級の学年だと、3展開ということになります。他の教科ではこのような展開を行っていません。では、なぜ算数だけ少人数クラスを設けているのでしょうか。算数は、他の教科に比べて学力差がとても出やすい教科であるといわれています。通常、学級の人数は30人以上が多く、学習につまづきのある子供へのサポートがままならないのが現状でした。そこで、もう1クラス設けて、1クラス当たりの人数を減らし、さらに、習熟度別に分けることによって手厚い指導ができるようにしています。

さて、授業の単元ごとのまとめには、テストを行っています。また、授業の中では副教材やプリント課題等にも取り組みます。スイスイとこなして「先生、できました!」と元気よく教えてくれる人、ところどころ迷いながらも、一生懸命に最後の問題までたどり着く人、それぞれです。しかし、答え合わせをしてみると…。威勢よく一番乗りで提出した人、授業でコツコツ頑張っている人が、もったいないところで計算ミスや、単位の書き忘れをしてしまっていることが多々あります。

算数に限りませんが、提出の前には「見直しをすること」を繰り返し指導しています。見直しの習慣がきちんとついている人は、間違いに気づき、その場で直すことができます。しかし見直しの習慣がない人は、見直しの方法が分からず、流し見するだけになってしまいがちです。見直しとは、解いた問題をもう一度解き直すくらいしなければ意味がありません。早く終えて一番乗りを目指すこともよいですが、じっくりと見直しをして、より完璧を目指すことも大切です。そうすれば、テストの後に「時間が余って暇です!」なんてことはないはずです。

算数少人数の授業では、折に触れて「見直し」の習慣化を図っていきます。

委員会活動

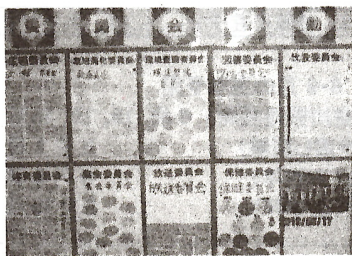
特別活動主任 服部 綾

◇委員会活動を通して…

- ・発意・発想を生かし、創意工夫を生かします。
- ・一人一人の児童が、責任や役割を果たし、自己有用感や学校への所属感を高めることができるようにします。
- ・活動内容についての話し合いで合意形成を図ったり、共同して取り組んだりして、異学年集団における人間関係をよりよく形成できるようにします。

今年度、赤坂小学校では、【代表、図書、環境整備、栽培美化、広報、体育、集会、放送、保健】と9つの委員会に分かれて、青少年赤十字活動を軸に各取り組みを進めています。

前期は4月～、後期は10月～活動を行います。



2階掲示板

「委員会活動」

夏季学校プール開放の実施について

今年度夏季水泳指導は7月のみの実施になります。

8月にはプール開放を実施します。

5日間の開放予定でしたが4日間に変更となります。

開放日 8月26日(月)～29日(木) 4日間

開放時間 午前10時～正午

東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて

オリ・パラ担当 竹内 駿

いよいよ東京大会が来年に迫ってきました。昨年度に引き続き、オリ・パラ教育を進めていきます。今年度も東京都の中で20校しか選ばれない競技応援校に選ばれました。競技は5人制サッカーです。ブラインドサッカー協会にご協力をいただき、アイマスク体験(歩いたり、ボールを蹴ったりなど)を行ったり、障害や競技性を重視した競技体験を行ったりします。低学年では、大会における選手に向けたブーケづくりを行い、選手にエールを送る活動を行います。

1月には友達プロジェクトの発表会を行います。職員室前には、学習の成果を活かした掲示板を作成しますので、来校された際は、ぜひご覧下さい。

こんなとき、どうする? ～落ち着きがない～

学習ルーム 松尾あづみ

同じブランコの揺れ方でも、恐怖の感じ方は人それぞれ。同様に「落ち着きがない子、注意集中が続かない子」の抱える困難さの裏に、三半規管の感じ方の違いが隠れていることがあります。集中力に欠け、ふざけて見える動きも、実は身体を動かすことで、脳が情報処理を行っている場合があるのです。

必要な刺激を受け脳が満たされることで、落ち着きのなさは軽減されると言われています。適切に発達を促すために、授業の中では、配り係を担当したり、黒板へ出てきて説明をしたりと、正当な理由で歩き回る機会をもつことは効果的です。また、ご家庭では、休日に滑り台やブランコ、トランポリンやアスレチックなど身体を思い切り動かす機会をもつのはいかがでしょうか。

通室の有無に関わらず、気になることがあれば、学習ルームまで、どうぞお問い合わせください。